

教育学研究科

総合生存学館を志望する者は、教育学研究科修士課程（研究者養成プログラム）入試のみ受験可能である。ただし、当該入試については、外国人留学生は受験できない。

以下の情報は、令和7年度教育学研究科修士課程（研究者養成プログラム）学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

1. 出願書類（研究科別）

P.8記載の（2）二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験で教育学研究科を受験する者は以下の研究科別の出願書類を提出すること。

研究経過報告書	同一内容のもの4部。別紙Ⅰ「研究経過報告書作成要領」に従うこと。 学館の第二次試験に必要なので、コピーを取っておくこと。
研究計画書	同一内容のもの4部。別紙Ⅱ「研究計画書作成要領」に従うこと。 学館の第二次試験に必要なので、コピーを取っておくこと。
エビデンス資料	上記「研究経過報告書」、「研究計画書」に関連する各種資料があれば提出すること。（論文、報告書、発表資料等。外国語能力を示す書類を含めてもよい。コピーでもよい。）A4判のファイル（クリアブック等）1冊にまとめて綴じ、表紙に氏名を明記すること。学館の第二次試験に必要なので、コピーを取っておくこと。 （詳細については、別紙Ⅲ「『研究経過報告書』・『研究計画書』」に添付するエビデンス資料に関する注意事項」を参照。）

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2024年8月22日（木）～2024年8月29日（木）午後5時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

注) 郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2025年4月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 入学者選抜方法等

選抜は、第1次試験（筆記試験）により行う。総合生存学館を志望する者には教育学研究科で行われる第2次試験（口頭試験）は課さない。

第1次試験（筆記試験） 2024年9月10日（火）

コース	外国語	専門科目	場所
	9:00～10:15	10:50～12:50	京都市左京区吉田本町 京都大学本部構内又は 吉田南構内 (詳細は受験票送付時 に通知する)
教育哲学・教育史学 ※	英語、ドイツ語、 フランス語、中国 語の中から1つを 選択。	①教育哲学 ②教育史学	
教育方法学・発達科学 ※		③教育方法学 ④発達科学	
臨床教育学		⑤教育人間学・ 臨床教育学	
教育認知心理学	英語	⑥教育認知心理学	
臨床心理学	英語、ドイツ語、 フランス語、中国 語の中から1つを 選択。	⑦臨床心理学	
教育文化学 ※		⑧教育社会学 ⑨図書館情報学 ⑩メディア文化学	
比較教育政策学 ※		⑪比較教育学 ⑫教育政策学 ⑬文化政策学 ⑭生涯教育学	
高等教育学		⑮高等教育学	
備考	専門科目試験に関する注意事項 特に指定された場合を除き、日本語で解答すること。 ※印のコースを志望する者は、あらかじめ選択する専門科目を決めること。選択した科目以外で受験することは認めない。		

ただし、台風などの気象状況等を理由に第1次試験を延期する場合の予備日を9月11日（水）とする。予備日に関する連絡事項は、受験票送付時に通知する。

3. その他

別紙Ⅰ「研究経過報告書作成要領」、別紙Ⅱ「研究計画書作成要領」及び別紙Ⅲ「『研究経過報告書』・『研究計画書』に添付するエビデンス資料に関する注意事項」については、京都大学大学院教育学研究科修士課程学生募集要項で確認すること。